

農業委員会だより



2024.3 No.38



～元気の出るおいしい アスパラガスをお届けします～

降雪が落ち着き春の息吹が感じられる2月下旬、横手市旭地区にある農事組合法人「塚堀農事生産組合」では、冬どりのアスパラガスの収穫が行われています。

こちらの法人では、水稻や大豆等の生産のほか、冬季はビニールハウス内で「ウェルカム」という早生多収の品種を栽培しており、1月下旬から3月初旬まで収穫されます。

今年度は夏場の高温による水不足や冬期間でも暖かい日が続くなど、成育への影響が少なくないものの、適切な温度管理や複数回の収穫を行うなどの工夫を凝らし、昨年と同等の収量を消費者へお届けできた、と笑顔で語っていただきました。

来年度に向け、作業場では取材中も軽快に動き回る従業員の活気に溢れていました。

目次

■ 農業委員会活動情報	2
■ 秋田県農業会議会長表彰者の紹介	3
■ 農業者年金加入推進について	3
■ 令和6年度総会日程予定	4
■ がんばる農家さんをご紹介	4
■ 横手食育見聞録	5
■ 第18回作文・図画コンクール作品紹介	6
■ 横手市の賃借料情報	6
■ 編集後記	6

農業委員会活動情報



北海道東北ブロック 女性協議会研修会に 参加してきました

令和5年11月7日(火)、秋田市「にぎわい交流館AU」にて研修会が開催され、当市からは5名の女性委員が参加しました。

基調講演では、東京農業大学国際食料情報学部 堀部篤教授より、農村では特に若い女性の人口減少が著しい現状と、その中で女性が農村に定住するための環境づくり、女性登用の必要性和効果等について講演がありました。

事例発表では、当市農業委員会飯野正和会長並びに宮城県美里町農業委員会伊藤恵子会長より、それぞれの組織の女性委員に関する活動報告がなされ、参加者と意見交換が行われました。飯野会長からは、異業種経営者との交流や若い女性農業者、新規参入者との懇談内容、行政支援

や連携を得るために、市長への意見書に女性委員の活動を通じた意見も参考としたことなどが発表されました。



事例報告では当市女性委員の活動等を紹介しました

「農地利用最適化推進施策等に関する意見書」を提出してきました

令和5年11月13日(月)に飯野正和会長ほか3名の農業委員が本庁舎

を訪問し、当市の農業等に関する課題についてまとめた「農地利用最適化推進施策等に関する意見書」を高橋大市長へ手交しました。

この取り組みは、農業委員と農地利用最適化推進委員が日ごろの活動を行う中で、農家や研修生との意見交換等で挙げた意見や要望を取りまとめ、より良い農政となるよう関係機関へ現場の声を伝えることを目的に実施しており、今年度で3回目となります。

意見書には、

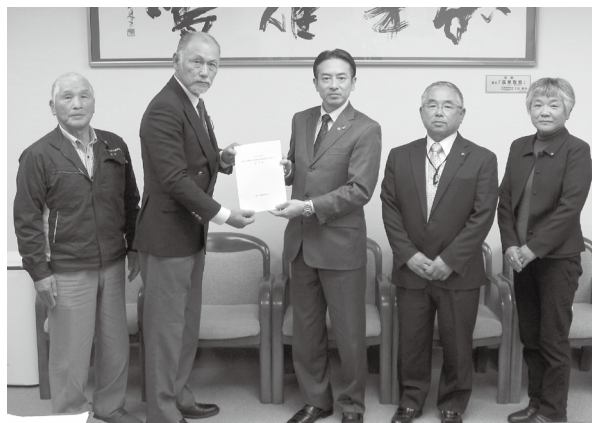
- ① 農業生産資材等価格の高騰への(継続的な)対策
- ② 中小規模農家への支援対策と耕作放棄地対策の強化
- ③ 産地ごとの実情に合った水田活用の直接支払交付金の運用
- ④ 女性農業者が働きやすく、暮らしやすい農業・農村の環境整備
- ⑤ 有害鳥獣(特にイノシシ)への対策強化
- ⑥ もみ殻の再利用への取り組み

の全6項目について要望を行いました。

同意意見書への回答を1月26日に受け取りました。いずれの要望に対し

ても、農業への支援について農家の皆さんが安心して営農を継続できるように関係機関とも連携して臨んでいきたい旨の回答がありました。

農業委員会では今後も引き続き、農家の実情や現場の声を関係機関などへ適宜お伝えし、より良い農政となるよう尽力してまいります。



高橋大市長へ意見書を手渡してきました

意見書および回答書の詳しい内容については、市HPでも公開しております(ページ番号: 1010285)



女性農業者との 研修会を実施しました



インボイス制度の実務についてわかりやすく説明をしました

令和5年12月6日(水)、条里南庁舎にて、市農業委員会女性委員とよこて農業女子勉強会の皆さんとの研修会並びに意見交換会を実施しました。

いて、わかりやすい事例を交えながら説明を行いました。

次に、令和5年3月に開催した意見交換会以降の疑問や問題、今年度の猛暑等による作物の影響などを確認しあいました。

主な意見内容は、家族間での雇用に対する認識の相違から、どのように相談していくべきか、防除のタイミングの見極めや対策、鳥獣被害による対策方法等が挙げられました。参加した女性委員からは、経験等に基づくアドバイスや提案がなされ、終始和やかな雰囲気の中で研修会を閉じました。

今後も女性若手農家の生の声を聴く機会として、継続的にこのような場を設けていきます。

※よこて農業女子勉強会とは、市内で農業に従事する20〜40代の女性を対象としたグループで、農業に関する情報交換を行っています。



横手市農業の発展に貢献!

昨年11月に開催された「秋田県農業委員会大会」で秋田県農業会議会長表彰を受賞された農業委員をご紹介します。

この表彰は、通算15年以上農業委員として就任された方が対象となります。担い手への農地利用の集積・集約化、違反転用の防止是正、遊休農地の発生防止・解消など農業振興及び農地利用の最適化に尽力し、地域農業の発展に大きく貢献されました。

永年勤続農業委員



伊藤 亨氏
(十文字)



佐々木秀一氏
(大雄)

農業者年金で安心して豊かな老後を!

～農業者の方なら広く加入できます～



農業者年金に加入する条件は3つだけ!

- ▶ 国民年金第一号被保険者 (保険料納付免除者を除く) ▶ 年間60日以上農業に従事
- ▶ 65歳未満 (60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者)

- 農地を持っていない農業者、配偶者や後継者等の家族従事者も加入可能です。
- 任意での脱退も自由です。脱退一時金は支給されませんが加入期間に関わらず、それまでに支払った保険料は、将来の農業者年金として給付されます。

※農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金 (保険料月額 400円) の加入が必要です。
※農業者年金と国民年金基金及び個人型確定拠出年金 (iDeCo) とは重複加入できませんのでご注意ください。いずれの年金お問い合わせや詳しい資料は、農業委員会事務局または最寄りの地域課農業委員会担当窓口、JA担当窓口へ

お問い合わせ先

- 増田 0182-45-5515
- 平鹿 0182-24-1118
- 雄物川 0182-22-2187
- 大森 0182-26-2116
- 十文字 0182-42-5119
- 山内 0182-53-2934
- 大雄 0182-52-2111
- 農業委員会事務局 0182-35-2172

令和6年度横手市農業委員会総会開催予定日・申請受付日程

★農地の権利移動、農地転用などの各種申請に対する締切日は原則下記のとおりです。

	申請書類締切日	総会開催日		申請書類締切日	総会開催日
第1回総会		4月1日(月)	第8回総会	9月25日(水)	10月15日(火)
第2回総会	3月25日(月)	4月16日(火)	第9回総会	10月25日(金)	11月15日(金)
第3回総会	4月24日(水)	5月15日(水)	第10回総会	11月25日(月)	12月16日(月)
第4回総会	5月27日(月)	6月17日(月)	第11回総会	12月24日(火)	1月15日(水)
第5回総会	6月25日(火)	7月16日(火)	第12回総会	1月27日(月)	2月14日(金)
第6回総会	7月25日(木)	8月16日(金)	第13回総会	2月25日(火)	3月14日(金)
第7回総会	8月26日(月)	9月17日(火)			

※農業経営基盤強化促進法に関する申請(利用権設定、県公社売買)は、**毎月20日が締切日**です。

※上記日程は、都合により変更となる場合があります。最新情報は、横手市ホームページ(ID: 1003533)よりご確認ください。



このコーナーでは、横手市で農業に励む農家さんを定期的に紹介していきます！

今号は雄物川地域大沢地区で、リンゴやモモ、スイカを生産しているご夫婦です。ラジオ出演やSNS発信など地域農業のPR活動にも積極的に貢献されています♪

藤原 晴菜さん

令和5年度より新規就農した晴菜さん。農業の傍ら、令和6年の冬からはかまくら職人に志願！横手市の農業に、観光にと積極的な活動を行っています！

Q 就農したきっかけはなんですか？

もともと秋田市出身で都内の広告会社へ勤めていました。帰郷後に夫の両親のりんごの作業を手伝うようになり、作業の楽しさや収穫したリンゴの味に感動しました。夫の退職を契機に農業をやってみようとして二人で決めました。

Q 我が家の「おすすめレシピ」はありますか？

果実は生で食べるのが最良ですが、自家製のリンゴジャムを紅茶に入れて飲むと手ごろな紅茶でリッチな気分になります。自家製リンゴジャムは今後商品化を目指していますので、販売された際にはぜひお試しください♪

Q スバリ！農家の魅力はどんなところ？

お天道様の下で土と触れ合い、風を読みながら仕事をする…人間らしい生活だと感じます。今まで農業に全く触れたことがなかったからこそ自然に癒され、清々しい気持ちで触れ合うことができ、とても魅力を感じています。



いつも近所の方からの声がけや、畑を気にかけていただき、ありがたい気持ちでいっぱいです。まだまだ駆け出しの新人ですので、温かい目で見守っていただけると幸いです♪

藤原 正宏さん

令和4年度より新規就農した正宏さん。サウナー(サウナ愛好家)として余暇を謳歌する傍ら、おいしい果実を皆さまにお届けするため工夫しながら奮闘中です！

Q 就農したきっかけはなんですか？

幼少の頃から農家の大変さを痛感しているからこそあえて継承を強制しない親の姿を見て育ちました。困難であっても立ち向かい続ける両親への尊敬の念と、会社員時代に培った経験やノウハウを活かした起業への挑戦意欲、地元秋田のため自分にできることへの想いを持ちながら、しばらく都内の会社に勤務していました。転機は秋田への転勤です。これまで抱えていた想いが強くなり就農の決意に至りました。

Q 育てている作物の推しは何ですか？

「フジノ果」の作物すべてが推しです！！特に推したいモモは、お客様に長い期間旬を楽しんでもらえるよう13品種を現在栽培中です。化成肥料を使用しておらず、安心して食べられるように取り組んでいますので、ぜひご期待ください。

Q 今後の目標や展望はどんなことですか？

将来的には観光農園やグリーンツーリズムへの参入、6次産業化にも注力していきたいし、スマート農業も目指しているのので、地域のスマート農業モデル生産者になりたいですね。当面の目標は、果物の中で自分が最も大好きなモモを早く育てて食べたいし、お客様にもお届けしたいです♪



とにかく食味には自信があります。減農薬や有機肥料への取り組みも一生懸命やっています。主に横手・十文字地域のスーパーや道の駅、ポケットマルシェや食ベチョコなどのネットで販売する機会が多いので、一度お試しください♪



藤原夫妻が経営する「フジノ果」の詳細情報はこちらから
Instagram : @fujinoka_akita
ポケマル : <https://poke-m.com/producers/630635>



Instagram



ポケマル



食ベチョコ



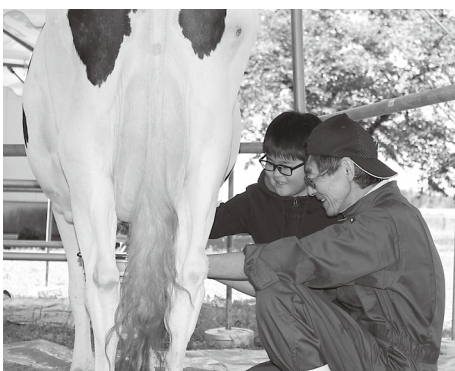
農業委員会では、小学生が自らの食と農について考える習慣を大切に、生涯を通して健全な食生活を実現するため、広報・食農推進委員会を設置して食農教育の推進に努めています。

毎日乳牛と生きている酪農家が先生です！

令和5年10月13日(金)、醍醐小学校において搾乳体験が行われました。この事業は、乳牛とのふれあいを通して酪農に関心を持ってもらうと秋田県牛乳普及協会が主催する「モーモースクール」です。酪農を営む農業委員の千葉肇さんが講師となり、5・6年生を対象に搾乳や仔牛への哺乳といったふれあ体験、バターづくり体験を行い、いのちの尊さを感じてもらいました。

参加した児童からは、「乳しぼりをしてみて、搾る乳が温かく不思議に思った」「初めてのバターづくり体験で、牛乳だけで本当にバターができるか疑問だったけれど、とても

滑らかな美味しいバターができた」「いつも飲んでる牛乳が牛から絞られてるんだなと実感できた」「仔牛に触った時、皮膚がサラサラで撫でると気持ちよかった」「仔牛の心臓の音がすごく速かった」といった感想が寄せられ、酪農への興味や関心、牛乳への好感度が高まる事業となりました。



想定していたよりも力を入れて搾乳します

作文や図画で食育を表現した作品が集まりました

18回目を迎えたコンクールには、市内小学5年生の子どもたちから、農業体験をして感じたことや農産物を通して家族とのコミュニケーションで思ったことを表現した作品(作文一〇三作品、図画二八二作品)の応募がありました。

横手市教育委員会の協力のもと審

査会が行われ、最優秀作品各一名、優秀作品が各五名、図画の部は特別賞が一名選出されました。

作文の部

◆最優秀賞

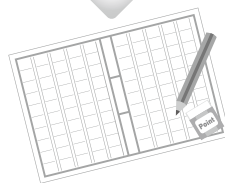
横手南小学校 5年

武藤 悠理さん

「科学でおいしい野菜を全国に」

ぼくの趣味は家の畑で野菜を無農薬で育てることだ。毎週NHKの「野菜の時間」を録画してくり返し見ているし、机の上には昨年八月にももらった「野菜の時間」講師の藤田智先生のサインがかざってある。どんな野菜でもひよいひよいと上手に栽培する藤田先生の技にはあこがれずにはいられない。

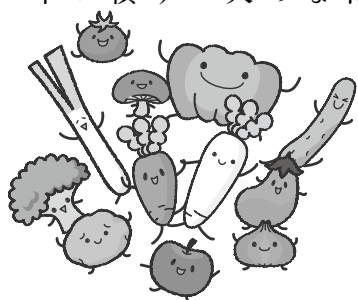
野菜は本当に奥が深い。大根のくさがとても短くて意外なところにあったり、ネギの根っこや、トマトのわき芽を土にさしておくとまた生きてきたり、身近な野菜でも知らないことだらけだ。そんな野菜をこよなく愛するぼくに二年連続で悲しいことが起きた。ぼくが一番好きな野菜のトマトが一昨年は恐ろしい青枯病に、今年はどうもこの病にかかってしまった。特に青枯病の時は、病気に気づくのがおくられて、トマトが全



めつしてしまった。ぼくは野菜作りの才能がないかもしれないと、とてもショックを受けた。そんなぼくに、母が横手市園芸拠点センターで、夏野菜の栽培講習会があると教えてくれた。その日は学校があつて行けなかったから、ぼくは、母にお願いして、病気の治し方を聞いてもらうことにした。栽培講習会では、接木苗は植穴に深く埋めるのではなく、高く植えることが必要だとか、ゴールデンウィークに植えるのは横手では早すぎるなど、目からうろこの情報をたくさん教えてもらった。拠点センターの先生は、まるで野菜のお医者さんのように、かつこいと思つた。

トマトの病気を通して、野菜作りは科学なんだと気づいた。病気にも、豊作にも、あまい味にも全部理由がある。もつと野菜のことを勉強して、知りつくせば、病気を予防したり、治したりして、きつとぼくにも、おいしい野菜作りができるはずだ。

ぼくは将来、農家になりたい。そのためにも、大学で野菜についてしっかりと勉強して、横手のおいしい野菜を日本中に広めたい。



第18回横手食育見聞録



作文の部 最優秀賞
武藤 悠理さん
横手南小学校



図画の部 最優秀賞
佐藤 瑠笑さん
吉田小学校



図画作品 友と一緒に稲刈り

作文・図画コンクール 受賞者一覧

～おめでとうございます～

作文の部

- ◇最優秀賞
横手南小学校 武藤 悠理さん
- ◇優秀賞
横手南小学校 田畑 佑樹さん
増田小学校 中村 春花さん
雄物川小学校 後藤 美咲さん
雄物川小学校 矢野 暖和さん
山内小学校 照井 直生さん

図画の部

- ◇最優秀賞
吉田小学校 佐藤 瑠笑さん
- ◇優秀賞
横手南小学校 水溜 万柚子さん
横手南小学校 三浦 維月さん
増田小学校 福田 花純さん
雄物川小学校 柴田 和奏さん
大森小学校 佐々木 結珠羽さん
- ◇特別賞
横手南小学校 今野 珠華さん

横手市の賃借料情報

令和5年1月から令和5年12月までに締結(公告)された農地の賃借料水準(10aあたり)一覧は別添チラシまたは市HP(ページ番号:1008953)をご参照ください。あくまで参考値です。



農業委員会では、「食育」の必要性と重要性を認識し、「健康で豊かな人間形成と食糧自給率の向上」に向け、このコンクールを広く活かしてまいりたいと考えております。

応募作品は、Y²ぶらざ(3/28～4/4)、横手公園展望台企画展(初夏頃を予定)などで展示しますので、お近くにお立ち寄りの際は子どもたちの力作をどうぞご覧ください。



※これまでの受賞作品は、横手市ホームページ(ページ番号:1003534)にも掲載しております。

広報・食農推進委員会



- | | |
|---------|---------|
| 委員 長 | 木村 由美子 |
| 副委員 長 | 佐藤 仁 |
| 菅 原 一 郎 | 堀 江 一 彦 |
| 高 橋 俊 作 | 高 橋 俊 作 |
| 佐 藤 正 志 | 佐 藤 正 志 |
| 千 葉 肇 | 千 葉 肇 |

広報・食農推進委員
木村 由美子

「ガンバレ能登」
年初から発生した令和6年能登半島地震で被災されました皆さまには心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表します。今なお震災の爪痕がまだまだと残る被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

編集後記



昨年の豪雨と猛暑では、水の恐ろしさと大切さの両方を身に染みて感じましたが、冬季の雪不足が深刻な中、水神様をまつる小正月行事「かまくら」が今年も無事に開催されました。雄物川町の木戸五郎兵衛村にも多くのお客様が訪れ、私もボランティアという形で参加し、横手市に来訪された皆さまをお出迎えしました。水は農業にとって大切な資源です。1日の終わりには、かまくらの「水神様」に手を合わせ、今年は昨年以上の豊作になることを祈りました。